日本基督教団　西宮公同教会　教会学校　西宮公同幼稚園　週報 No.598　2026 年 11 月 1 日(日)
（みんななかまさ！ 通巻 No.1585／みんなのともだちはどろんこたいよう 通巻 No.764）

みんななかまさ！

〈 れいはいのプログラム 〉

しかい：かなざわ　けいこ

１、しずかなこころ	
２、みんなで歌ううた	♪「ピース -PEACE-」P. 30
３、みんなでいのる	主のいのり P. 92
４、みんなで読むせいしょ	マタイによる福音書第１８章２１－３５節
５、みんなで歌ううた	♪「キセキの渚」P. 52
６、みんなで聞くおはなし	「いのち」すがさわ　くにあき
７、みんなで歌うさんびか	讃美歌２３４Ａ番♪「むかし主イエスの」P. 73
８、けんきん	♪「いまそなえる」P. 92
９、しずかなこころ	

＜今日の活動＞ こうどうまつり準備

〈 ほうこく 〉



２５日（日）は、「まわる」でした。絵本「とべバッタ」（著：田島征三／偕成社、1988年）を読みました。恐ろしい天敵から身を守るため、小さな茂みに隠れて暮していたバッタが、決心して大空へと羽ばたいていく、とても力強い絵本です。少し元気がなくなったときや、誰かに応援してほしいなと思うときに、開いてみるのもいいかもしれません。力強い絵と言葉から、力をもらえるような1冊でした。

活動は、園舎2階で縄跳びです。はじめは、普通の八の字跳び、そして今度はダブルダッチに挑戦！縄を回すのも、跳ぶのも、初めての体験ばかりです。でも、やっぱり子どもたちの力はすごい！頭で考えるより先に体が動き、跳び始めるのです。はじめは3回、5回だったのが、慣れてくると、なんと50回を超える子どもたちも出てきました。子どもたちのパワーと元気な姿を見ることができ、とてもうれしい、楽しい時間でした。おやつは、10月だけのお楽しみ、「黒大豆枝豆」をみんなで少しずついただきました。甘くて、ほっこりとしたうまみのある枝豆。とてもおいしく、秋の味覚をみんなで楽しみました。

〈 こどもといのる 〉

園舎や園庭に子どもたちの笑い声や名前をよびあう声がひびく日曜日。とても幸せな時間です。そんな何気ない子どもたちとの平和な日々がこれからも、ずっと続きますように。

（わきもと　たけのり）

〈 おしらせ 〉

◇11月14日（土）は、毎年秋のお楽しみ「こうどうまつり」です！今年のタイトルは、「ぱぴぷぺぽオー！」。みんなで少しずつ準備を進めています。当日は、11時から、みなさんをお待ちしています。小学5年生以上のお友だちは、お手伝いも大歓迎です。一緒におまつりを盛り上げましょう！

牛乳パックを集めています。集まった牛乳パックは「おかえりティッシュ」「ただいまロール」になります。牛乳パックは、46120枚から **54枚** 集まりました。合計 **46174枚** になりました。2016年5月末に80000枚に到達し、2016年6月より新たにカウントをスタートしています。

2026年10月25日（日）

10月生まれの誕生日のお祝いをしました

































二そのとき、ペテロがイエスのもとにきて言った、「主よ、兄弟がわたしに対して罪を犯した場合、幾たびゆるさねばなりませんか。七たびまでですか」。三イエスは彼に言われた、「わたしは七たびまでとは言わない。七たびを七十倍するまでにしなさい。四それだから、天国は王が僕たちと決算をするようなものだ。五決算が始まると、一万タラントの負債のある者が、王のところに連れられてきた。六しかし、返せなかったので、主人は、その人自身とその妻子と持ち物全部とを売って返すように命じた。七そこで、この僕はひれ伏して哀願した、『どうぞお待ちください。全部お返しいたしますから』。八僕の主人はあわれに思って、彼をゆるし、その負債を免じてやった。九その僕が出て行くと、百デナリを貸しているひとりの仲間に出会い、彼をつかまえ、首をしめて『借金を返せ』と言った。十そこでこの仲間はひれ伏し、『どうか待ってくれ。返すから』と言って頼んだ。十一しかし承知せずに、その人をひっぱって行って、借金を返すまで獄に入れた。十二その人の仲間たちは、この様子を見て、非常に心をいため、行ってそのことをのこらず主人に話した。十三そこでこの主人は彼を呼びつけて言った、『悪い僕、わたしに願ったからこそ、あの負債を全部ゆるしてやったのだ。十四わたしがあわれんでやったように、あの仲間をあわれんでやるべきではなかったか』。十五そして主人は立腹して、負債全部を返してしまうまで、彼を獄吏に引きわたした。十六あなたがためいめいも、もし心から兄弟をゆるさないならば、わたしの天の父もまたあなたがたに対して、そのようになさるであろう」。